

議 事 録

会 議 名	令和元年度第1回八潮市水道運営委員会
開催日時	令和元年7月19日（金） 午後1時30分～2時40分
出席委員	鴨狩委員長、村山副委員長、坪田委員、恩田委員、小倉委員、清水委員、村松委員、木村委員、玉森委員 9名
次 第	1. 開 会 2. 市長あいさつ 3. 議 題 (1) 令和元年度八潮市上水道事業の予算について 4. その他 5. 閉 会
議 事	<p>1. 令和元年度八潮市上水道事業の当初予算について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○ 主な質疑応答</p> <p>（ 委員 ） これから入札により発注する工事の予算額をこの会議資料で具体的に示しても良いのか。入札額が予算額付近に集中してしまい、競争性が確保できないのではないかと。</p> <p>（ 事務局 ） 今回の運営委員会では予算についてご意見をいただくため、ある程度工事ごとの金額を示さないと会議にならないと考え、示せる範囲で資料中に記載した。なお、今回示したのは、あくまでも予算額であり、実際の発注時には労務単価等を新しいものに入れ替え実施額を設計し直すため、これらの予算額とは一致しない。</p> <p>資料の取扱いについては、委員の皆様のご意見をふまえた上で対応する。</p> <p>（ 委員 ） 疑問の出ないような入札方法によってほしい。</p> <p>ちなみに、議会で議決を得た予算額は、公表されているのか。</p> <p>（ 事務局 ） 継続費については、予算書の中で年度ごとの予算額が示されており広く公表されている。</p> <p>（ 委員 ） 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する金額のうち317,029千円については、建設改良積立金で補てんするとのことだが、建設改良積立金はどのくらい残高があるのか。</p> <p>（ 事務局 ） 令和元年度予算作成時に見込んだ平成30年度末における建設改良積立金残高は、約866,000千円であり、ここから317,029千円を取り崩した。</p>

(委員)

残りは5億円くらいあるということか。

(事務局)

予算の見込みではそのとおり。

(委員)

基幹管路等耐震化事業の工事について、県道松戸草加線基幹管路等耐震化(第2期)工事は、総延長176.5mで請負金額173,782,800円であるのに対し、県道松戸草加線基幹管路等耐震化(第3期)工事は、総延長約350mで予算額が第2期工事より小さい。総延長が倍近く違うにも関わらず、第2期工事の請負金額が高いのはなぜか説明してほしい。

(事務局)

第2期工事の施工場所には、基幹管路とは別の配水管や地中ケーブルが埋まっていたり、水路が通っていたりする箇所がある。これにより、基幹管路を深い位置に通さなければならず、請負金額が高くなっている。

(委員)

平成29年度の決算値から令和元年度の計画値の増分について、管路総延長と耐震化延長で差があるのはなぜか。

(事務局)

管を延長する際には基本的に耐震管を入れているが、小口径の管については例外的にポリエチレン管を入れる箇所もあるため、延長に差が出ている。

(委員)

機械設備等更新工事で用いているアセットマネジメント手法とはどういったものなのか説明してほしい。

(事務局)

アセットマネジメント手法とは、給水人口の推移や施設の耐用年数等を考慮し、より効率的に施設が利用できるよう更新工事等を計画的に進める手法であり、本市水道事業においては、平成29年度に作成した八潮市水道事業ビジョンのなかで検証している。

2. その他

利根川水系上流ダム群等の現在の状況について

審議後、水道部中央浄水場内での応急給水活動の体験を実施